

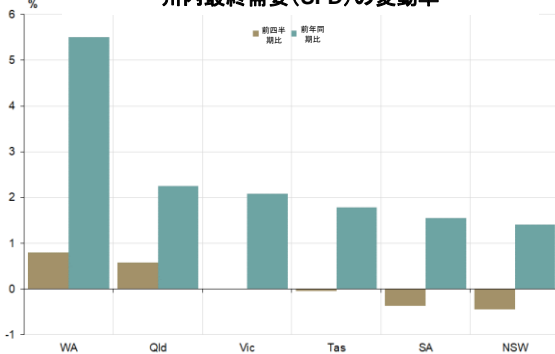
今月の西オーストラリア州関連データハイライト

- 第4四半期の西オーストラリア州の実質州内総生産(GSP)は0.8%増加し、通年では5.5%増となった。
- 第4四半期の西オーストラリア州の賃金価格指数(WPI)は前四半期比で0.8%、前年同期比では4.7%上昇した。
- 西オーストラリア州の1月の雇用者数は700人増加し、失業率は4.2%となった。
- また1月の西オーストラリア州の小売売上高は0.7%増加し、年間での増加率は1.8%となった。

2023 第4四半期の西オーストラリア州の州内最終需要

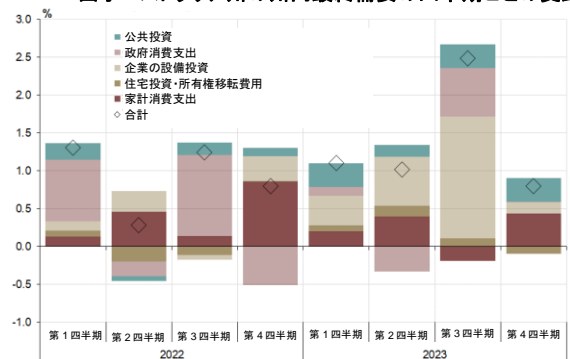
- 2023年第4四半期の西オーストラリア州の州内最終需要(SFD)は0.8%増加し、通年では5.5%増となった。これらの増加率は、オーストラリア全州の中で最も高い数値である。
- 第4四半期における西オーストラリア州のSFD増加分の半分は、家計消費支出が0.9%増加したことによるものである。その一因としては、家計部門が2023年半ばに西オーストラリア州政府によって導入された2023年の家庭向け電気料金の補助金を概ね使用し尽くし、電力料金の自己負担費用が拡大したことで、電気、ガスその他の燃料支出が39.1%急増したことが挙げられる。しかし家具・調度品(0.7%)または被服・履物(0.9%)などの裁量的支出を含め、消費者支出は家庭用品・家事サービスのほとんどのカテゴリーで拡大した。
- 第4四半期の企業の設備投資は0.7%増加した。鉱業セクターおよび学生寮を中心とする非住宅部門の建設が2.8%増加したことや、再生可能エネルギー・プロジェクトに関連した新規土木工事や公益事業への投資がプラスに寄与した。しかし第4四半期の機械・設備投資は鉱業セクターを中心に1.0%減少した。
- 第4四半期の住宅投資は4.6%減少した一方で、所有権移転費用は4.8%増加した。
- 第4四半期の一般政府消費支出は横ばいとなった。先住民族の声を代表する機関「ボイス」の設置を巡る国民投票のための支出が拡大したものの、2023年の家庭向け電気料金の補助金に関連した支出の減少によって相殺された。
- 第4四半期の公共投資は、エネルギー、教育、道路および公益事業への支出拡大を背景に5.9%拡大した。

州内最終需要(SFD)の変動率



※WA: 西オーストラリア, Qld: クイーンズランド, Vic: ビクトリア, Tas: タスマニア, SA: 南オーストラリア, NSW: ニューサウスウェールズ

西オーストラリア州の州内最終需要の四半期ごとの変動率



資料: ABS

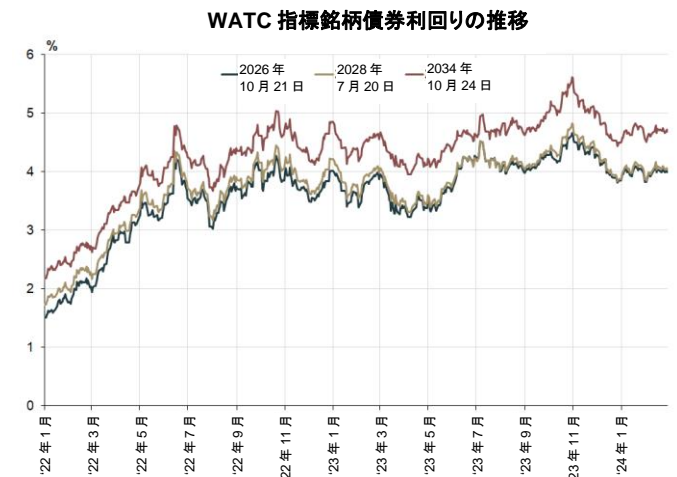
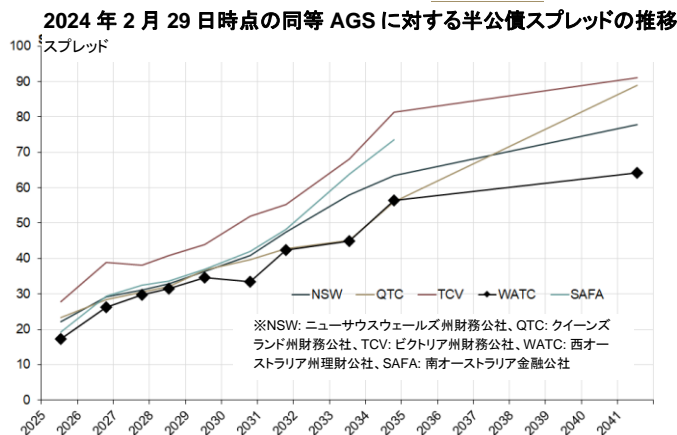
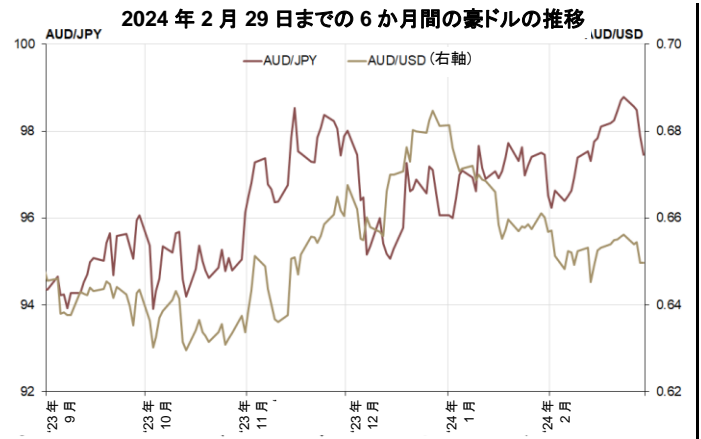
オーストラリア金利 (%)			為替と株価	
RBA 政策金利目標	4.35	(0 pt)	AUD/USD	0.6497 (↓1.1%)
90 日銀行手形	4.34	(↓1 pt)	AUD/JPY	97.45 (↑1%)
連邦政府 3 年国債	3.70	(↑13 pt)		
連邦政府 10 年国債	4.14	(↑12 pt)	ASX200	7699 (↑18 pt)

市場概況

- RBA は 2 月に市場の予想どおり金利を据え置き、政策金利目標も 4.35% に据え置いた。
- 2 月は米国とオーストラリアの両方で中央銀行の利下げ予想が後退するなか、オーストラリア国債利回りが小幅に上昇した。RBA 職員は当月、RBA が近いうちに利下げするとの見方を一貫して否定した。米国のインフレ率が予想を上回ったことや、米国の一部の経済指標が好調だったことも、この否定を補強する形となった。利回りは上昇したとは言え、2023 年後半につけたピークを依然大きく下回っている。
- 豪ドルは、主に円安を理由に、2 月に日本円 (JPY) に対して 1.1% 上昇した。豪ドルは米ドルを含むほとんどの主要通貨に対して下落し、豪ドル/米ドル相場は中旬に 3 か月ぶりの安値まで低下した。
- 2 月のオーストラリア株式市場は 4 か月連続で上昇し、ASX 200 株式指数は月間で 0.2% 上昇して史上最高値を更新し、取引を終えた。

WATC 指標銘柄債券の利回り		
満期	利回り 2024 年 2 月 29 日	AGS スプレッド 2024 年 2 月 29 日
2025 年 7 月 23 日	4.14 (↑16 pt)	+17 pt (↓6 pt)
2026 年 10 月 21 日	4.00 (↑17 pt)	+26 pt (↑5 pt)
2027 年 10 月 21 日	4.01 (↑18 pt)	+30 pt (↑3 pt)
2028 年 7 月 20 日	4.04 (↑16 pt)	+32 pt (↑2 pt)
2029 年 7 月 24 日	4.14 (↑15 pt)	+35 pt (↑1 pt)
2030 年 10 月 22 日	4.28 (↑13 pt)	+33 pt (↑0 pt)
2031 年 10 月 22 日	4.41 (↑13 pt)	+42 pt (↑5 pt)
2033 年 7 月 20 日*	4.56 (↑16 pt)	+45 pt (↑4 pt)
2034 年 10 月 24 日	4.69 (↑14 pt)	+56 pt (↑3 pt)
2041 年 7 月 23 日	5.08 (↑13 pt)	+64 pt (↓1 pt)

スプレッドは最も近いオーストラリア連邦政府債に対するもの。* グリーンボンド。



この資料に含まれるいかなる見解、判断、結論、予測、予想、見積りも、西オーストラリア州理財公社に提供され、同公社が信頼できると確信している情報に依拠して作成されたものです。しかし、同公社はそうした情報の正確性を保証するものではありません。よって、いずれの提案も誠実になされるものとはいえ、あくまでも各々の判断を下す上での材料として提供されるものであり、特定事案に対する専門的な助言に代わるものとするを意図されたものではありません。この資料でなされる提案の採否を判断する前に、各々の特定のニーズや状況について西オーストラリア州理財公社とご検討いただくことを強くお勧めします。